

試合番号	419	試合会場	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	観客数	0																					
開始時間	12:00	終了時間	14:21	試合時間	02:21	主審	明井 寿枝	副審	増岡 三佳子																	
JTマーヴェラス		通算	15勝 3敗 ポイント: 44	23	第1セット	25	デンソーエアリービーズ		通算	10勝 7敗 ポイント: 32																
監督コメント	3	21	第2セット	25	2	25	監督コメント	0	25	第3セット	21															
												25	第4セット	18												
															15	第5セット	9									
																		<p>今週も大変な状況のなかで、大会開催にあたりご尽力いただいた方々に感謝いたします。 第1、2セットは自分たちのペースでゲームを進めることができました。 しかし、第3セットから相手がリズムを変えてきたことに対応しきれず、自分たちのリズムを作ることが難しい展開でした。 V・レギュラーラウンドも残り2試合となりました。 セミアイナルに進むために、課題を修正して来週の試合に臨みます。</p>								
																		<p>デンソーのような多彩な攻撃と強力なアタッカーをそろえたチームには、私たちはサイドアウトを1本で取るのが難しいチームです。 しかし、セットを通してサーブの精度が上がりました。 V・レギュラーラウンドも残り少なくなりました。 1試合を大切に戦い、自分たちのレベルアップとチャレンジャーとしての気持ちを出して、応援してくださる方々に感謝していただける試合をしていきます。 2日間ありがとうございました。</p>								
<p>第1セット序盤、JTマーヴェラスはセンターのタツタオの攻撃から、対するデンソーエアリービーズは粘り強いレシーブとブラマーのアタックで得点を重ねる。中盤にJTはドルーズの連続サービスエースから徐々に点を広げ始めるが、サーブミスなどの失点で接戦となる。その後もJTはミスが続き、デンソーがセットをもぎ取った。 第2セットに入ると、流れは一気にデンソーに傾く。JTはレシーブが崩れ、思うような攻撃ができない。JTは二枚替えてセッターを柴田に代えたところから流れを取り戻し同点に追い付くが、デンソーは田代のトスワークで攻撃の勢を絞らせリードを守る。JTは林のブロック、ドルーズのスパイクで追い上げるも、デンソーがセットを連取した。 第3セット、JTは林、田中のスパイクが決まり始め、リードして中盤へ入る。デンソーは鍋谷、ブラマーのスパイクで食いつけ、横田の連続ブロックで追いつくが、終盤にJTはタツタオ、ドルーズ、林が立て続けにブロックを決めて、セットを奪い返した。 第4セット、前のセットの勢いそのままに、JTがスタートダッシュに成功する。デンソーのスパイクはJTのタツタオ、芥川を中心としたブロックにつかまり、なかなか決められない。デンソーは奥村や途中交代の中原のスパイクで反撃するも逆転には至らず、JTがフルセットに持ち込んだ。 第5セット、デンソーは東谷、ブラマーがスパイクを決めるが、JTも芥川、林がブロックを決め、一進一退の攻防が続く。終盤、JTがドルーズ、田中のスパイクで1歩抜け出すと、デンソーは付いていくことができず逆転勝利を収めた。</p>																										
日立リヴァーレ		通算	5勝 14敗 ポイント: 13	20	第1セット	25	埼玉上尾メディックス		通算	11勝 8敗 ポイント: 34																
監督コメント	0	18	第2セット	25	3	25	監督コメント	0	25	第3セット	25															
												25	第4セット													
															25	第5セット										
																		<p>順位決定戦の連戦前の最後となる連戦を連勝できたこと、今シーズン最多の4連勝をできたことを素直にうれしく思います。 試合内容としては、互いにミドルを中心とした組み立てで、サーブの効果率が求められる展開となりましたが、内瀬戸のディフェンスやブロックのアジャストがきっかけとなり、得点することができました。 今シーズン、相手の強いマークを受けて苦しい場面が多いサンティアゴが、豪快なスパイクでチームを勢いづけてくれたことは、V・レギュラーラウンドの最終戦に向けていい兆しとなりました。 V・レギュラーラウンドの順位がどうなるかは、私たちがコントロールすることができませんので、目の前の最終戦に向けて全力で戦えるように準備していきます。 引き続き応援よろしくお願いします。</p>								
																		<p>2日間のホームゲーム開催のご協力ありがとうございます。 順位をかけた大事な一戦でもあり、今日は絶対に勝利したかった試合でした。 日々の練習のなかでも対策していたフェイントのディフェンスなど、確実に拾わなければならないボールが上がらず、日らしい思い通りのパレが展開できませんでした。 ホームゲームを2連敗で終わってしまったことは非常に心苦しく思います。反省点をしっかりと修正して、来週の2戦にかけたいと思います。 ご協力いただきました関係者の皆様、本当にありがとうございました。</p>								
<p>第1セット、序盤、埼玉上尾メディックスは内瀬戸、ジョセフを中心に、日立リヴァーレはタップ、オクム天庭を中心に攻める。中盤以降、埼玉上尾が流れを掴むと、青柳、サンティアゴの攻撃も決まりはじめ、点差を広げる。日立もセッターを雑賀に交代しリズムを変えようとするが点差は縮まらず、埼玉上尾がセットを先取した。 第2セット、埼玉上尾は序盤からセッター山崎の巧みなトスワークからそれぞれのスパイクが打ち切り、スタートダッシュに成功する。中盤以降も埼玉上尾はブロックからチャンスをつかみ攻撃していく。日立はオクム天庭、長内を中心に攻めて追い上げるも、埼玉上尾が振り切ってセットを連取した。 第3セット、後がない日立はタップのブロックや長内のスパイクで序盤にリードを奪う。埼玉上尾はジョセフ、サンティアゴのスパイクで追いつき、一進一退の攻防が続く。最後は埼玉上尾の内瀬戸、吉野がスパイクを決め、勝利を収めた。</p>																										
トヨタ車体クインシーズ		通算	6勝 14敗 ポイント: 19	22	第1セット	25	東レアローズ		通算	20勝 0敗 ポイント: 57																
監督コメント	0	13	第2セット	25	3	25	監督コメント	0	25	第3セット	25															
												14	第4セット													
															25	第5セット										
																		<p>今日の試合、第1セットは我慢する場面が多かったですが、第2セット以降は攻撃にリズムが出て、交代して出場した選手も含めて全員で勢いを出すことができたと思います。 また次週に向けて、しっかりと準備をしていきたいと思ひます。本日はありがとうございました。</p>								
																		<p>現在の順位において上位チームとの連戦で厳しい内容がありますが、強くなるために、もがきながら戦い続けています。ホームゲームで勝利できなかったことは非常に残念ですが、まだある可能性に向けて全力で取り組みます。 今回のホームゲームでも、多くの方に支えられて戦っていることを改めて実感し、感謝しております。ありがとうございました。</p>								
<p>レギュラーラウンド首位通過を決めた東レアローズを、トヨタ車体クインシーズがホームに迎えての一戦は、東しがストレートで勝利した。 第1セット、トヨタ車体はソロカイトのサーブで東しの守備を崩し、連続得点で4-2と先々良いスタートを切ったが、東しがすぐに追いつき、序盤は一進一退の攻防が繰り返される。試合中盤、トヨタ車体は山形のサーブで再度東しの守備を崩し4連続得点で引き離しにかかる。しかし東しは石川の2連続サービスエースですぐに同点にする、お互いに1点を取り合いながら終盤までもつれた試合となる。最後は勝負所でクラウンに攻撃を集めた東しが、粘るトヨタ車体を振り切りこのセットを先取する。 第2セット、このセットもトヨタ車体が先行する形でスタートするが、中盤以降、東しがサーブ権を奪うと常に連続得点につなげ、点差をつけてこのセットを連取する。 第3セット、出だしこそ1点を取り合う競った試合展開となったが、第2セット同様、安定したプレーで確実に連続得点につなげた東しが主導権を渡すことなく、このセットも危なげなく連取した。</p>																										
NECレッドロケッツ		通算	15勝 4敗 ポイント: 46	25	第1セット	7	KUROBEアクアフェアリーズ		通算	4勝 16敗 ポイント: 11																
監督コメント	3	25	第2セット	19	0	25	監督コメント	0	25	第3セット	16															
												25	第4セット													
															25	第5セット										
																		<p>ゲーム出足から、NECレッドロケッツのショートサーブにリズムを狂わされ、何もできないままセットを取られてしまいました。その後も、高さのあるブロック、粘り強いディグからのオフェンスに苦しめられ、0-3の完敗となりました。V・レギュラーラウンド最終週に向け、修正し準備をしたいと思ひます。 今後ともご声援、よろしくお願いします。</p>								
																		<p>まずは今日の試合を最後まで勢いを落とさずに勝ち切れて良かったです。今回の試合はサーブで常に主導権を握り続けることができたので、オフェンスでも自分たちのリズムで戦うことができました。 しかし、終盤のオフェンスでの連続ミスがあり、まだまだ甘い部分も見られるので、来週の戦いに向けて修正していきたいと思ひます。 本日も応援ありがとうございました。来週もリモートマッチではありますが、応援よろしくお願いします。</p>								
<p>シーズン終盤となり、共に勝利を確実に獲得したい一戦は、NECレッドロケッツが3-0で勝利した。 第1セット、NEC上野のショートサーブ、ネリマンの奥へ勢いのあるサーブでKUROBEアクアフェアリーズのサーブレシーブを揺さぶり、17-2と大きくリードする。その後、KUROBEも必死のディグで粘りを見せるが流れは変えられず、NECがセットを先取する。 第2セット、KUROBEはアウトサイドヒッターのリーと舩田がレフトから着実にポイントを取っていく。対するNECは、第1セット同様に多彩なサーブでKUROBEの守備を崩し、相手を上回る連続得点を重ね、セットを連取した。中盤でNEC島村が見せたブロード攻撃が、連続で相手コートに突き刺さったプレーは目を見張るものがあった。 第3セット、NECは古賀がレフトから多彩な攻撃で連続得点を挙げ、一気に流れを掴む。セッターの澤田も終始両サイドの速いトスを活用してKUROBEのブロックを翻弄し、割れたブロックの間からアタッカー陣が確実にポイントを挙げ、NECが危なげなく勝利した。</p>																										

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。

試合番号 : 424		試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイング体育館 (姫路市立中央体育館)				観客数 : 620	
開始時間 : 12:00		終了時間 : 13:52		試合時間 : 01:52		主審 : 千代延 靖夫	
						副審 : 林 淳一	
岡山シーガルズ		通算	11 勝 9 敗 ポイント : 31	13	第1セット	25	久光スプリングス
監督コメント	昨日のゲームの流れが第1、2セットに響き、どうしてもシーガルズらしい展開が回復しなかった。3セット目から持ちなおし、第4セット中盤まで競り合ったが、所要所で攻めの精度が足りなかった。この2日間の反省を生かし、来週レギュラーラウンド最終戦を悔いなく戦いたい。コロナ禍で大変な中、2日間応援して下さい皆様様に感謝いたします。		1	22	第2セット	25	3
				25	第3セット	17	
				19	第4セット	25	
				第5セット			
				監督コメント		今週は岡山との試合だけだったので、勝つために必要なことに集中して準備をしてきた。それをコートの中で体現してくれた選手たちを讃えたい。スタートで出場した選手は勿論だが、試合途中で出場した選手たちの活躍も流れを引き寄せた。チーム全員で勝ち取った1勝だったと思う。レギュラーラウンドも残り少なくなると一戦のみなので、今週以上に準備をしていきたい。本日もたくさん応援ありがとうございます。	
要約レポート レギュラーラウンドも天啓を迎え、上位進出に向けて両者とも何としても勝利を重ねたい重要な一戦。第1セット、久光スプリングスは野本の鋭いスパイクをきっかけに7連続ポイントで優位に進める。岡山シーガルズは及川の速攻や渡邊のライト攻撃で応戦するが、久光はアキンラデウォ、荒木の活躍で着実にリードを広げ、25-14で先取した。第2セット、岡山は古川にボールを集めてポイントを重ねリードするも、久光は井上(美)の巧みなトスマワシでブロックを交わし追いつく。一進一退のゲーム展開は、終盤で久光がアキンラデウォの連続ブロックで抜け出し連取した。後半が無い岡山は、長瀬のブロックや西村の好レシーブをつなぎ金田の攻撃でポイントするなど、チーム一丸となってリードする。対する久光は、石井や井上(愛)のバックアタックで応戦するが、最後は岡山が渡邊の攻撃で粘る久光を突き放し第3セットをものにした。序盤から見ごたえあるラリーが続く、両者一歩も譲らない展開となった第4セットは、終盤に入り久光は石井の強烈なスパイクで流れを掴み一歩リードする。岡山は古川、金田を中心に必死に反撃を試みるが、最後は久光・荒木の高いブロックが決まり、貴重な勝利を挙げ勝率を5割に戻した。							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
						副審 :	
		通算	- 勝 - 敗 ポイント :		第1セット		通算
監督コメント					第2セット		- 勝 - 敗 ポイント :
					第3セット		
					第4セット		
					第5セット		
				監督コメント			
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
						副審 :	
		通算	- 勝 - 敗 ポイント :		第1セット		通算
監督コメント					第2セット		- 勝 - 敗 ポイント :
					第3セット		
					第4セット		
					第5セット		
				監督コメント			
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
						副審 :	
		通算	- 勝 - 敗 ポイント :		第1セット		通算
監督コメント					第2セット		- 勝 - 敗 ポイント :
					第3セット		
					第4セット		
					第5セット		
				監督コメント			
要約レポート							